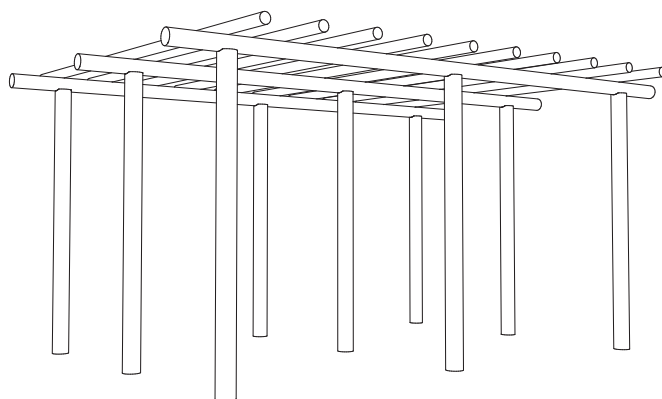


施工要領書

PCギ木 パーゴラ1型B(HP-1B)

このたびは弊社の商品をご採用いただきましてありがとうございます。
商品の組み立てや取り付けには、**この施工要領書をよくお読みになり、正しく美しく仕上げてください。**

ここに示した注意事項は、商品の性能・機能および強度や安全性を確保する上での重要な内容です。また、注意事項を守らないと、死亡や重大な事故、製品の破損が生じる恐れがあります。施工にあたって必ずお守りください。



！ 施工前の確認事項

- ☐ 開梱時に種類と数量を必ずご確認ください。
- ☐ 万一商品に破損や異常がある場合、または部品が不足している場合は、販売店または(株)ナベシマまでご連絡ください。

！ 施工上の注意事項

- ☐ PCギ木はコンクリート製品である為、角欠け等に注意してください。
- ☐ 付属品のボルト類の締め付けは全て確実に行って下さい。
- ☐ 付属の部品以外は使用しないでください。
- ☐ 施工後、ネジおよびボルト類にゆるみやガタつき、その他使用上危険な箇所などがないか点検してください。
- ☐ 補修は材料添付のギ木色塗料を塗ってください。
- ☐ 開梱時には荷崩れしないように注意して下さい。

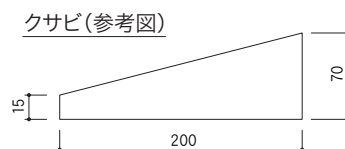
！ 安全上の注意事項

- ☐ PCギ木は重量物である為、施工時に指詰め等に注意してください。

施工時に必要なもの

- | | | | |
|---|---|------------------------------------|----------------------------------|
| ☐ クレーン | ☐ ナイロンスリング | ☐ 水平器 | ☐ レベルスタッフ |
| ☐ 発電器 | ☐ 脚立 | ☐ パール (大・小) | ☐ クサビ(木製) |
| ☐ カケヤ | ☐ 水糸、サゲフリ | ☐ 墨ツボ | ☐ 曲尺 |
| ☐ プラスチックハンマー | ☐ 電動ドリル | ☐ コードリール | ☐ パイプレンチ |
| ☐ W3/8ボックススパナ(首長タイプ)口径17 | ☐ W1/2ボックススパナ(首長タイプ)口径21 | | |
| ☐ 足場板 | ☐ ヌキ木 (※定規製作用) | | |

※施工場所等の状況により、上記以外に必要なものがあれば準備して下さい。



施工手順

1 基礎の確認

- (1) 全体の基礎が、設計図の寸法位置にあるか測定し確認して下さい。
- (2) 柱据付部の基礎底面レベルを確認します。
柱基礎底面が基礎上面より300mm下がりになるように確認し、レベルの出ていない箇所はモルタルで調整します。
- (3) 柱通り芯に墨出しをします。(図-1)
柱芯墨より75mm逃げた位置に逃げ墨を出します。(柱の外周)

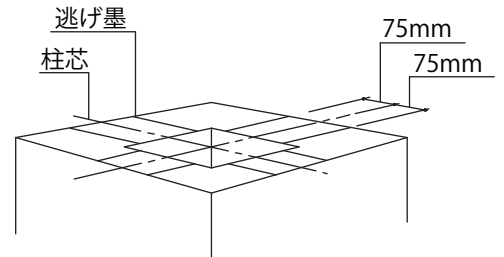


図-1

2 柱の据付

- (1) 柱の天端に寸切ボルトをネジ込みます。(図-2)
寸切ボルト W1/2 × 270 6本(柱天端から215mm出します)
寸切ボルト W1/2 × 180 3本(柱天端から125mm出します)
- (2) A-1の通りに柱を基礎上の墨打ち線に合わせ、タオレを水平器で調整しクサビを強く打ち込んで固定して下さい。(基準柱とします)(図-4)
※柱の向き(柱上部Rの向き)に注意!
- (3) 残りの柱もA-1柱と同様に据付、クサビで仮止めします。
- (4) 図-3の要領で定規を作り、図-4の位置に取り付けます。
各通りにある柱の寸切ボルトに定規を差し込みます。
対角にある柱の寸切ボルトにも定規を取付、
2枚の定規の真中をボルトで止めます。
- (5) 柱天端のボルト芯々寸法を測定し、確認します。
定規A間 3,000mm 定規B間 2,250mm 定規C間 3,750mm
木目で表面が凹凸しているので水平器だけでなく、
目通りでも柱の通りを確認します。
- (6) 通りの確認後、柱全部の基礎廻りをクサビで強く固定して下さい。
柱が動かない状態になったら、定規を取り外します。

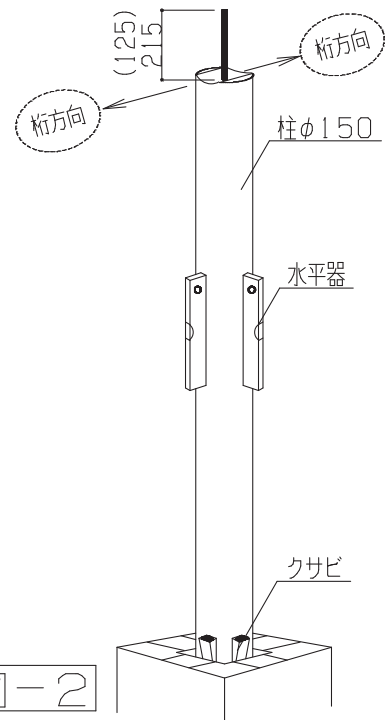
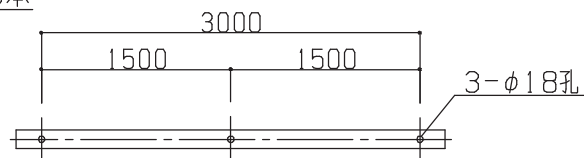
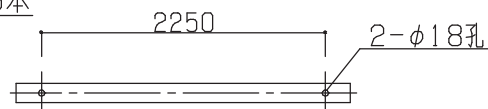


図-2

定規A (1、2、3通り用) 3本



定規B (A、B、C通り用) 6本



定規C (対角用) 4本

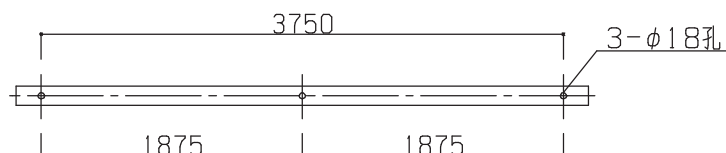
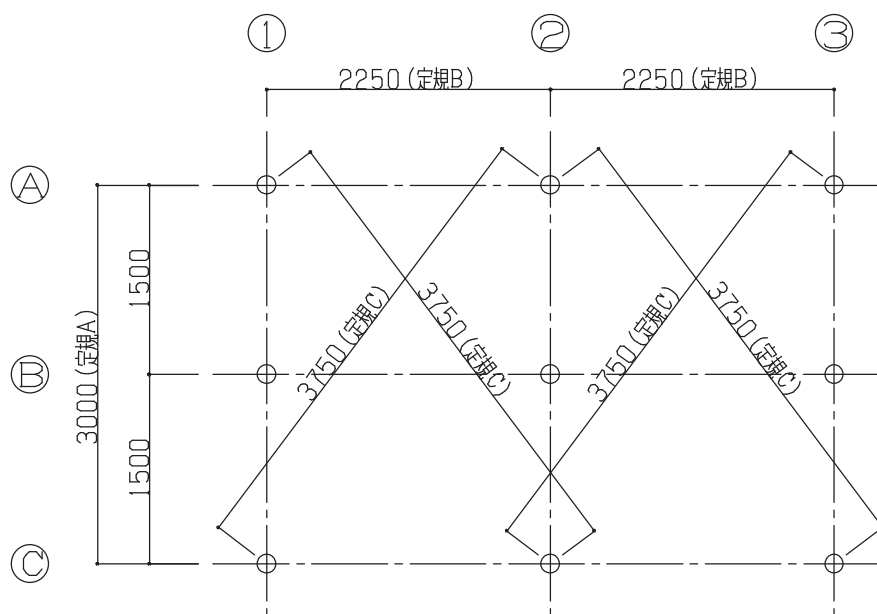


図-3

図-4

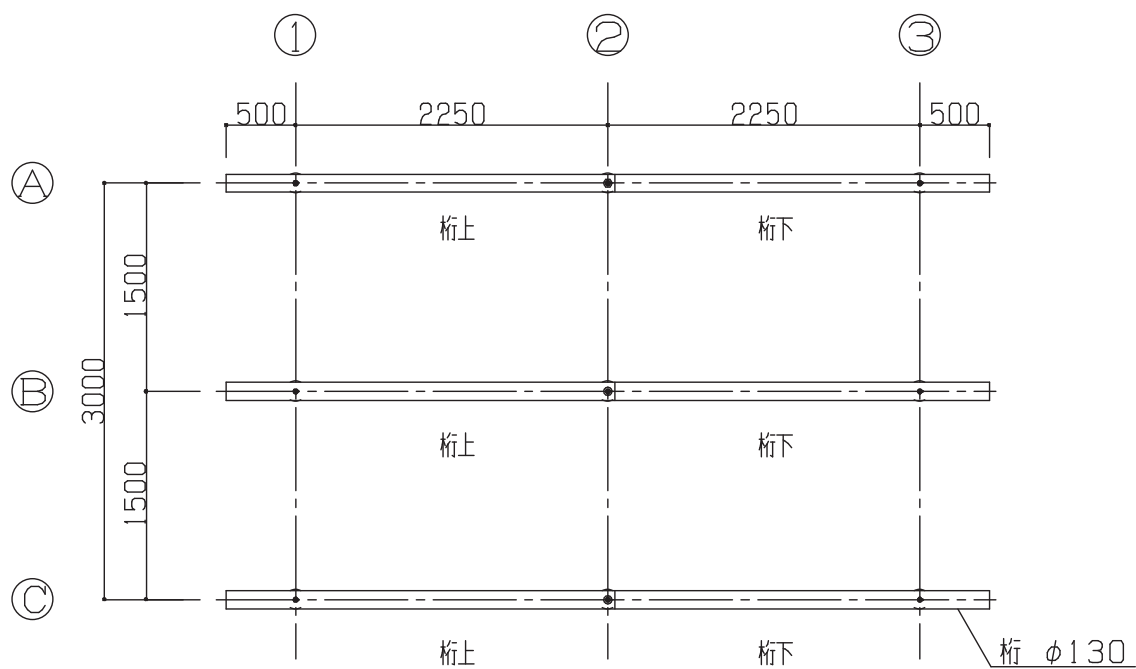


※ボルトW1/2×270使用の柱・・・A通り-1, 3 B通り-1, 3 C通り-1, 3に据付けます。

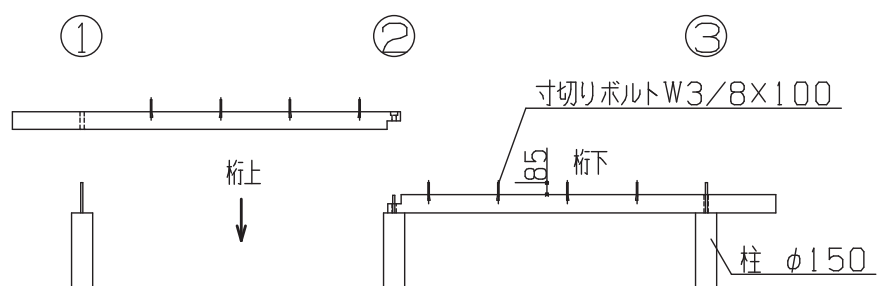
※ボルトW1/2×180使用の柱・・・A通り-2 B通り-2 C通り-2に据付けます。

3 桁の据付

- (1) A通り、B通り、C通りに桁を据付けます。(通り・出面を確認します。) 桁下→桁上の順番で据付けます。
 - (2) 桁の天端のインサートに寸切りボルトをネジ込みます。W3/8×100 天端から85mm出します。
- ※コテ面側を上に向けて据付けます。



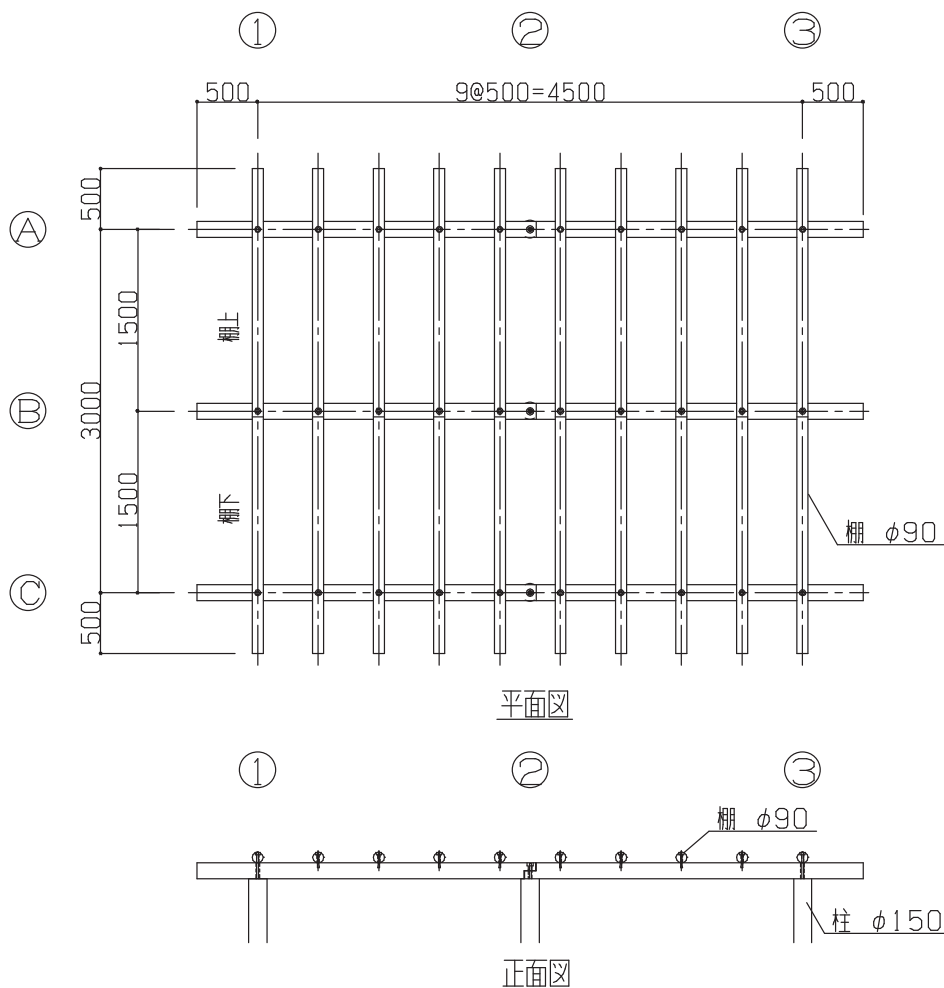
平面図



正面図

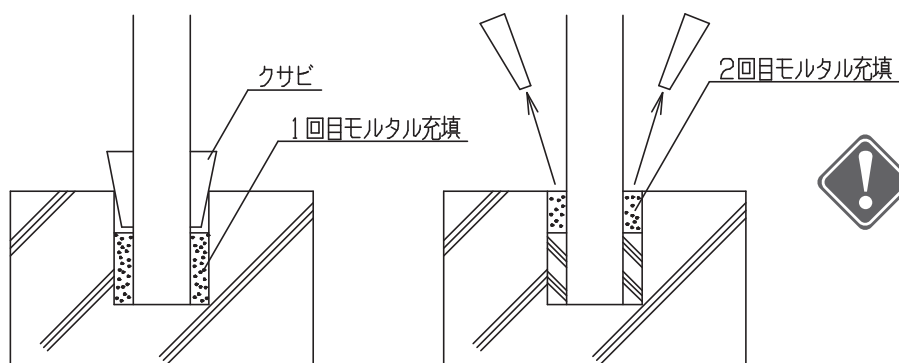
4 棚の据付

- (1) 桁から出ている寸切りボルトに棚を据付けます。(通り・出面を確認します。)棚下→棚上の順番で据付けます。
- (2) 全て据付後、通りを再度調整してナットで固定します。
(柱上部W1/2ナット、丸ワッシャー、その他はW3/8ナット、W1/2Φ丸ワッシャーです)



5 仕上げ

- (1) 柱の固定はモルタル2回打ちとします。



※1回目はクサビの下面までモルタルを充填して下さい。

※2回目は強度が出た状態でクサビを取り外し、基礎上面までモルタルを充填して下さい。



左記事項は必ず守ってください

- (2) 角欠け、キズなどにはコンクリートボンドで補修を行い、材料添付の補修塗料を塗ります。
 - (3) ヤネパネルの目地はプライマーを塗布してシーリングA種を施してください。
- ※搬入時のパレット、開梱時に発生した梱包材等は適正に処分して下さい。